

# 校長だより あおすげ

令和5年11月17日号

校長 竹内 重幸

## <運動会を終えて>

11日の運動会には、多くの保護者の皆様に参観いただきありがとうございました。優勝した白組、準優勝の紅組。「勝った、負けた」「順位」はつきますが、今までの練習してきたことや全力を出し切って競技したり、ダンスをしたりしたことは、勝った負けたでは決められないことだと改めて感じました。閉会式で、「どれだけ全力で応援できたか？」を聞いたところ、ほとんどに児童が自信をもって手を挙げていました。これだけ応援できる菅っ子、応援されるに値する菅っ子がいることが、青菅小学校の自慢だと考えています。ポストコロナ・令和型の新しい運動会を模索している途中ですが、今年の運動会は大成功だと考えています。

また、運動会が終わった時、何人もの子に「校長先生、有難うございました。」と感謝を伝えられました。「こちらこそ、有難うございました。」と答えました。魔法の挨拶を伝え続けていますが、子供たちの心に少しずつ浸透しているように感じて嬉しくなりました。

最後に、閉会式で「保護者の皆様にだけ見えた、お子さんの頑張りやスポーツマンシップもあったと思います。ぜひ、帰ってからは、すてきな言葉の金メダルをお子さんにかけてあげてください。」とお願いをしました。保護者の「頑張ったね」「ありがとう」「成長したね」は何よりも心のエネルギーになると考えます。

【体育主任 教諭 麻生寛人】

4年ぶりとなる青菅小学校運動会。子供たちにとっても、運動会に対するイメージがあまりもてない状態でスタートしたため、職員も含め、1から作り上げる運動会となりました。限られた時間の中で子供たちが運動会を通してどう成長してほしいのかを考え、子供たちもまた、高学年を中心に自分たちが運動会に向けてできることを話し合い準備してきました。

その甲斐もあって、運動会当日は天候にも恵まれ、予定よりスムーズに進行することができ、よい運動会となりました。運動会を通して、一生懸命に取り組んだり、自分を表現したりする姿はとても清々しく、人の心を動かす力があること子供たち自身も感じ取れたことと思います。これからの学校生活に運動会での学びが生かされていくように今後も子供たちを支援していきたいと思っています。



盛り上げてくれた  
応援団に拍手





フラッグダンス  
「開幕宣言」

みんなを元気に  
青菅ソーラン！



ジャンボリ  
ミッキー

「青菅小学校に  
エールを送る！」



6年生の  
アイデアがいっぱい

